

児童生徒の体力向上に関する調査

文教福祉常任委員会

❶調査の目的

近年、新型コロナウイルス感染症の流行による影響などからの全国的な児童生徒の体力低下や昨今の夏場の異常な暑さの中での運動環境の整備、児童生徒の運動器に関する理学療法の活用など新たな課題への対応が必要なことから、本市の児童生徒の運動状況や環境、生活習慣を把握し、ソフト、ハード両面での必要な支援策を調査することにより、本市の児童生徒の体力の向上を図り、生涯を通じた健康の増進に資するため、調査項目に決定した。

❷調査の期間

令和6年9月～令和7年5月(委員会を12回開催)

❸調査の手法

1 現状把握

(1) 市の担当部署から説明を聴きました(11/15)

部署 教育委員会学校教育課、教育施設管理課

主な内容

- ①本市の体力向上に関する取組について
- ②異常気象下の児童生徒の運動活動における対策について



(2) 関係者や専門家などを招いて意見を聴きました(12/18・1/14)

主な内容と参考人

①児童生徒の体力・運動能力の現状と課題、向上策について(12/18)

福島大学人間発達文化学類スポーツ健康科学コース 教授 小川 宏 氏

②運動器からみた児童生徒の体力向上策について(1/14)

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 准教授 楠本 泰士 氏



<①の様子>



<②の様子>

2 先進事例調査

(1)他市町村の取り組み状況を調査しました(1/28~1/30)

主な内容と調査先

①小中学校における体力向上の取組について(大阪府堺市)

②中学校区ごとのつながりのある体力向上の取組と学校体育館への空調導入事業について
(大阪府寝屋川市)

③小中学校体育館への空調導入とその効果について(大阪府守口市)

④小中学校における体力向上の取組について(福井県福井市)

<①の様子>



<②の様子>



<③の様子>



<④の様子>

📎調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(6/18)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



⚡議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から教育長へ、提言書を提出しました(6/18)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ①小中学校が連携した体系的な教育の推進について
- ②運動器に着目した運動指導法の導入と理学療法等の活用について
- ③大学との連携による体力向上の取組について
- ④運動環境の整備について
- ⑤地域資源を活用した部活動の展開について

